

<span> </span>	司会：森山 晃嗣・森山 瑠水
<b>9:30-9:50</b>	<b>開会挨拶</b> <p>フランク・コウジノウ:米国がんコントロール協会 (CCS)会長  森山 晃嗣: NPO法人がんコントロール協会理事長 米国CCS日本支部代表</p>

<b>9:50-10:50</b>	 おびつ りょういち 帯津 良一	<b>大ホリスティック医学を目指して3年目</b> <p>医師・医学博士、帯津三敬病院名誉院長。東京大学医学部卒。西洋医学に中国医学や代替療法を取り入れ、医療の東西融合という新機軸を基に、がん患者などの治療に当たる。人間をまるごと捉えるホリスティック医学の第一人者として、日本ホリスティック医学協会会長、日本ホメオパシー医学会理事長なども務め、その実績は高く評価されている。主な著書「いい場を創ろう」「粋な生き方」「呼吸はだいじ」「ドクター帯津の健康暦365+1」「不養生訓 帯津良一とときめのススメ」他多数。</p>
-------------------	--	--

<b>10:50-11:50</b>	 ロドリゴ ロドリグス Rodrigo Rodriguez	<b>代謝と栄養医学 ～多角的アプローチ</b> <p>International Bio Care Hospital院長、MD(メキシコ・ティファナ)  代謝と栄養医学の国際的に認められたパイオニア。数々の療法―がんや変性疾患の細胞療法、小児発達遅滞、オゾン、遺伝子治療、全身温熱療法と静脈内ハイパー栄養の使用等。</p>
--------------------	---	---

<b>11:50-12:30</b>	 もりやま あきつぐ 森山 晃嗣	<b>からだの機能を開発する栄養理論</b> <p>NPO法人がんコントロール協会理事長。  食事療法によって病気を克服した体験をきっかけに、米国医大通信講座で正常分子栄養学を学び、その後30年以上にわたり ロジャー・ウィリアムス博士、エイブラハム・ホッフアー博士、ライナス・ポーリング博士らの生物学的医療の基本となる栄養について学ぶ。著書に「アメリカはなぜガンが減少したか」「がん難民119番一救済・治療先進国アメリカに学ぶ」「脳身快適」他。</p>
--------------------	--	---

<b>12:30-13:40</b>	<b>昼休憩</b> お弁当の販売を致します（添加物・保存料不使用）
--------------------	------------------------------------

<b>13:40-14:40</b>	 いしい のりまさ 石井 憲正	<b>幸せのカタチ</b> <p>日本個性学研究所所長 立命館大学経済学部卒。40数年間にわたり一貫して正常な人間の個性について研究。1989年、個性の3分類、30種類の目的別分類を発見、ひとり一人の個性のフレームワークを体系化しコンピュータシステム化に成功した。それによって個性に内在する先天的特性、能力を発見。その活用による適性、適材適所、採用、配置、育成支援、マーケティング指導、経営コンサルティングを行う。一般、家族には自分（自己発見）と周囲の個性を知ることでも円滑なコミュニケーションによるFamiry Management、また個性学理論を活用した「子育て」を推進している。著書に「個性でわかる！スマイル子育てマニュアル」「しあわせになるための個性学」他。</p>
--------------------	---	---

<b>14:40-15:40</b>	 ふじた ひろしげ 藤田 博茂	<b>がん波動療法（がんの超早期発見と進行がん治療）1200年の時を超えて</b> <b>今甦る空海の秘法 -Harmonize human body with Mandara in energy circle</b> <p>医師・医学博士 徳島大学医学部卒 三木ふじた医院院長(香川県)。1986年藤田医院を開院。三大治療を終えたがん患者が、治療の場を失い、救いを求めて来院することが頻繁にあったことから、彼らを救いたい一心で代替医療の道を模索し始める。鍼灸、漢方、ホメオパシーなど、多岐にわたって医学を学び、現在の治療方法にたどり着く。今も研究を重ね、一般的な治療では根治が困難な病に立ち向かい続けている。国際色彩診断治療研究会会員。著書に「余命宣告からの希望の(がん治療)」他。</p>
--------------------	--	--

<b>15:40-16:10</b>	<b>休憩</b> （講師の著書等を販売いたします）
--------------------	----------------------------

<b>16:10-17:10</b>	 みずかみ おさむ 水上 治	<b>いのちを高めるとがんは治る</b> <p>医師・医学博士 健康増進クリニック院長(東京市ヶ谷) 弘前大学医学部卒 74年より東京医科歯科大学で疫学専攻90年より米国カリフォルニア州ロマリング大学公衆衛生大学院で学び、94年卒業。米国公衆衛生学博士。東京衛生病院健康増進部長を経て、現在健康増進クリニック院長。日本オーソモレキュラー医学会理事長 ホルミンス臨床研究会理事、日本臨床食物機能研究会監事。主として欧米からあらゆる医療情報を集め、先端の西洋医療を大切にしながら補完医療を加えて、癌統合医療では日本トップクラスの診療内容を実践している。著書に「ピタミンCは人類を救う!!」「難しいことは分かりませんが、(がん)にならない方法を教えてください!!」(共著)他。</p>
--------------------	--	--

<b>17:10-18:10</b>	 みぞぐち とおる 溝口 徹	<b>がんの治療と栄養療法 ～オーソモレキュラー療法の紹介～</b> <p>医師・新宿溝口クリニック院長(栄養療法専門) 福島県立医科大学卒、横浜市立大学医学部付属病院、国立循環器病センター勤務を経て、神奈川県藤沢市に溝口クリニック(辻堂クリニック)を開設。2000年から一般診療に分子栄養学のアプローチを応用し始め、治療が困難な疾患にたいする栄養療法を実践し多くの改善症例を持つ。2003年日本初の栄養療法専門クリニック「新宿溝口クリニック」を開設。毎日の診療とともに患者や医師向けの講演活動を行っている。著書に「花粉症は1週間で治る!!」「この食事で自律神経は整う」「図解でわかる最新栄養医学 「うつ」は食べ物が原因だった!」他。</p>
--------------------	--	--

<b>18:10-19:10</b>	 ふなせ しゅんすけ 船瀬 俊介	<b>言わずに死ねるか！日本の真相!!《七夕の夜空に船瀬砲炸裂!》</b> <p>消費・環境問題評論家 九州大学理学部入学(中退)、早稲田大学社会学科を卒業後、日本消費者連盟に参加。『消費者レポート』などの編集等を担当する。また日米学生会議の日本代表として訪米、米消費者連盟(CU)と交流。独立後は消費者、環境問題を中心に執筆、講演活動を展開。著書に「笑いの免疫学」「抗がん剤で殺される」「3日食べなきゃ、7割治る!!」「元氣になりたきゃ、お尻をしめなさい」「買うな! 使うな! 身近に潜むアブナイものPART1」「食べないひとはなぜ若い? 空腹でオン!(長寿遺伝子)の驚異」他多数。</p>
--------------------	--	---

※講師及び時間は一部変更することがあります。

<span> </span>	司会：森山 晃嗣・森山 瑠水
<b>9:40-9:50</b>	<b>開会挨拶</b> 森山晃嗣 NPO法人がんコントロール協会理事長 米国がんコントロール協会 (CCS)日本支部代表

<b>9:50-10:50</b>	 ふじた こういちろう 藤田 紘一郎	<b>がんにならない食物繊維生活</b> <p>医師・医学博士、東京医科歯科大学名誉教授。東京医科歯科大学医学部卒。東京大学伝染病研究所大学院終了。専門は寄生虫学と熱帯病学。特に寄生虫関連の一般書で広く知られるようになった。また、花粉症の原因を寄生虫を撲滅しすぎたためとする説を広めたことでも知られる。主な著書に「体にいい寄生虫」「健康長寿は《腸から下》が決め手」「病気になるまい乳酸菌生活」「手を洗わずではいけない～超清潔志向が人類を滅ぼす～」「消えない不調は《腸疲労》が原因～最強の免疫力のつくり方～」他。</p>
-------------------	--	--

<b>10:50-12:20</b>	 みやもと けんじ 宮本 顕二	<b>わが国の高齢者終末期医療の現状と課題</b> <p>宮本顕二医師 北海道大学名誉教授 北海道中央労災病院 院長(北海道岩見沢市) 北海道大学医学部卒  宮本礼子医師 江別すずらん病院認知症疾患医療センター長(北海道江別市) 旭川医科大学医学部卒、高齢者の終末期医療を考える会代表。  両医師夫妻は終末期の実態を探ろうと、10年前のスウェーデンを振り出しに、オランダやオーストリア、米国、豪州などの諸国を回り、世界各国の終末期の実態と、好きなように死なせてくれない日本の終末期の実態を考察し、今後の日本の終末期医療の課題を提起している。</p>
<b>12:20-13:30</b>	<b>昼休憩</b> お弁当の販売を致します（添加物・保存料不使用）	

<b>13:30-14:30</b>	 あらい けいすけ 新井 圭輔	<b>ガン統合医療の実際 治療経過を左右する因子に関する考察</b> <p>医師・あさひ内科クリニック院長(福島県郡山市) 京都大学医学部卒。 昭和56年島根医科大学放射線科助手、昭和59年京都大学医学部付属病院核医学科医員、昭和62年より市立島田市民病院放射線科に勤務し、10年間ガンの診断と診療に携わる。平成9年4月 郡山市にてあさひ内科クリニックを開業。放射線ホルミシス、糖質制限による糖尿病・メタボ治療、糖質制限による健康長寿、更には厳格な糖質制限による癌治療に踏み込み、その成果を確信しての注目の5年連続の登板です。著書に「糖尿病に勝ちたければ、インスリンに頼るのをやめなさい」。</p>
--------------------	---	--

<b>14:30-15:30</b>	 いしかわ まさお 石川 真樹夫	<b>自然療法による癌の予防と克服について</b> <p>医師・クリニック光のいずみ院長(札幌市)秋田大学医学部卒 1996年にイギリスでパッチフラワーレメディの実践使用者(プラクティショナー)としての訓練を終え国際登録プラクティショナーになり、以後パッチフラワーレメディを用いる自然療法内科医として活躍。2015年、札幌市に、NLPカウンセリング、パッチフラワーレメディ等を用いる自然療法クリニックを開設。合併症をかかえ、多くの処方薬を服用して副作用で悩んでいる人々や、難治性のアレルギー・疾患・難病などで苦しむ子どもさん達の療養を支援し、自然療法、食事療法により、少しでも薬剤の使用を減らし、その人らしい生活と健康を維持出来るよう、医師として研究を続け、実績を重ねている。著書に「自然療法による回復を求めて」。</p>
--------------------	--	--

<b>15:30-16:00</b>	 ばんどう ほるか 坂東 遥	<b>天のひふみ法～心身の安らぎと自身の根源的な芯に出会うため～</b> <p>(日本古来の舞から生まれた呼吸法)  舞踊家、振付家、月花麗人社代表。6歳より日本舞踊を始め、17歳で名取となる。桐朋学園大学演劇科卒。安部公房氏主宰劇団「安部公房スタジオ」の仲代達矢等12名の創設メンバーの一人、案文字として活躍。その後、舞踊家の道を歩む。2015年「遥 吉祥舞」から発展した「天のひふみ法」を編み出す。著書に「卑弥呼 天のひふみ法」。</p>
--------------------	---	--

<b>16:00-16:30</b>	<b>休憩</b> （講師の著書等を販売いたします）
--------------------	----------------------------

<b>16:30-17:30</b>	 むねた てつお 宗田 哲男	<b>糖質制限の進化～ケトン体を使う生き方で健康寿命をのぼす！</b> <p>医師 宗田マタニティクリニック院長(千葉県市原市) 1965年北海道大学理学部入学、卒業後国際航業入社。その後医師を志し1973年帝京大学医学部入学、病院勤務を経て千葉の市原に宗田マタニティクリニック開院。妊娠糖尿病で苦しんでいる妊婦さんとそのお腹の子を救いたい!との思いから探求を重ね、胎児や赤ちゃんが糖質制限していることを発見し、日本の産婦人科界のデファクトスタンダードに反する糖質制限の食事で多くの糖尿病妊婦を救っている。著書に「いま、糖質制限がすごい! ケトン体生活のススメ」「甘いもの中毒 私たちを蝕む(マイルドドラッグ)の正体」「最強の油・MCTオイルで病気知らずの体になる!! 認知症、糖尿病、うつ病予防&amp;ダイエット効果も」他。</p>
--------------------	--	---

<b>17:30-18:30</b>	 てらま しんいちろう 寺山 心一翁	<b>治るヒントのつかみ方～がんが治った体験から得たこと</b> <p>意識の超越理論創案者、ホリスティック経営コンサルタント。早稲田大学第一理工学部卒。大学で物性物理学を学び東芝に入社、半導体系子の開発などに従事。1984年右腎臓ガンを患い、三大療法のアと肺などに転移、死を覚悟で退院。自宅でガンに愛を送り、チャクラを開き、チェロの波動でガンは自然治癒する。著書に「ガンが消えた～ある自然治癒の記録～」「フィンドホーンへのいざない」他。</p>
--------------------	--	--

<b>18:30</b>	<b>開会挨拶</b> フランク・コウジノウ 米国CCS会長、森山 晃嗣 NPO法人がんコントロール協会理事長
--------------	---

<span> </span>	司会：森山 晃嗣・末神 豊美
<b>9:50-10:00</b>	<b>開会挨拶</b> <p>フランク・コウジノウ:米国がんコントロール協会 (CCS)会長  森山 晃嗣: NPO法人がんコントロール協会理事長 米国CCS日本支部代表</p>

<b>10:00-10:30</b>	 フランク コウジノウ	<b>米国代替療法、苦難の歩みとその後の展開</b> <p>米国がんコントロール協会 (CANCER CONTROL SOCIETY) 会長</p>
--------------------	--	---

<b>10:30-11:15</b>	 もりやま あきつぐ 森山 晃嗣	<b>伝え続けて38年！いのちの鎖栄養理論</b> <p>NPO法人がんコントロール協会理事長。  食事療法によって病気を克服した体験をきっかけに、米国医大通信講座で正常分子栄養学を学び、その後30年以上にわたり ロジャー・ウィリアムス博士、エイブラハム・ホッフアー博士、ライナス・ポーリング博士らの生物学的医療の基本となる栄養について学ぶ。著書に「アメリカはなぜガンが減少したか」「がん難民119番一救済・治療先進国アメリカに学ぶ」「脳身快適」他。</p>
--------------------	--	--

<b>11:15-12:15</b>	 わだ ひろみ 和田 洋巳	<b>がん周囲微細環境を変えればがん治療は効いてくる！ 一がん治療におけるアルカリ化食の意味―</b> <p>医師・医学博士 京都大学名誉教授、京都大学医学部卒。からすま和田クリニック院長(京都市)。がん専門医として40年近く京大病院に勤務、2011年1月に、京都市中京区の烏丸御池にからすま和田クリニックを開院。これまでの自分のがん治療の経験から、大切なことは患者さんとの対話であると実感し、患者さんそれぞれの気持ち大切にしながら、どのようにしてQOLを上げていくかを共に考えていく治療を施し成果をあげている。著書に「がんに絶対勝ちたい! 和田式食事法」他。</p>
--------------------	---	---

<b>12:15-13:20</b>	<b>昼休憩</b> お弁当の販売を致します
--------------------	------------------------

<b>13:20-14:20</b>	 みうら なおき 三浦 直樹	<b>心・食・動・息のケアと先端医療を加えた統合医療の実際</b> <p>医師・兵庫医科大学卒、みうらクリニック院長(大阪市)。肉親のガンをきっかけに、西洋医学の限界と矛盾を強く認識。治療法の選択肢を広げるべく、自然療法の研究・実践を開始。 2009年8月みうらクリニック開院、以来約20年間、鍼灸や整体などの手技療法、マクロビオティックや漢方・薬膳などの食事療法、カウンセリングや催眠療法などの心理療法の研究を行い、必要に応じて西洋医学と組み合わせながら自然治癒力を引き出す治療を行っている。著書に「週一断食で万病が治る」他。</p>
--------------------	--	---

<b>14:20-15:20</b>	 ふじた ひろしげ 藤田 博茂	<b>がん波動療法（がんの超早期発見と進行がん治療）1200年の時を超えて</b> <b>今甦る空海の秘法 -Harmonize human body with Mandara in energy circle</b> <p>医師・医学博士 徳島大学医学部卒 三木ふじた医院院長(香川県)。1986年藤田医院を開院。三大治療を終えたがん患者が、治療の場を失い、救いを求めて来院することが頻繁にあったことから、彼らを救いたい一心で代替医療の道を模索し始める。鍼灸、漢方、ホメオパシーなど、多岐にわたって医学を学び、現在の治療方法にたどり着く。今も研究を重ね、一般的な治療では根治が困難な病に立ち向かい続けている。国際色彩診断治療研究会会員。著書に「余命宣告からの希望の(がん治療)」他。</p>
--------------------	--	--

<b>15:20-16:00</b>	<b>休憩</b>	
<b>16:00-17:00</b>	 おかもと ゆたか 岡本 裕	<b>みなさんも医者さんになりましょう～健康貯金を貯める16の習慣</b> <p>医師・医学博士、e-クリニックスタッフ医師 大阪大学医学部、同大学院卒。大阪大学細胞工学センターにて主に悪性腫瘍(ガン)の臨床、研究に携わった後、従来の医療・医学の考え方と手法に限界を感じて臨床医を辞める。1995年、阪神淡路大震災を一つのきっかけに「21世紀の医療・医学を考える会」を仲間とともに発足させ、2001年には、本音で答えるウェブサイト[e-クリニック]をスタートさせる。著書に「薬をやめれば病気は治る」「9割の病気は自分で治せる」他。</p>

<b>17:00-18:00</b>	 あらかき ひろし 荒木 裕	<b>食べ物と癌について</b> <p>医師・崇高クリニック院長(兵庫県加古川市) 京都大学医学部、同大学院卒。大阪北野病院勤務後米国ハーバード大学付属 小児病院脳神経外科研修医、同ハーバード大学医学部臨床栄養学部准教授。米国サウスカロライナ大学 医学部勤務。1983年崇高クリニック開設。癌治療についてケトンダイエット(断糖で肉食)を中心とし、身体をアルカリ性に保つ為に色々なミネラル(マグネシウム・カリウム、亜鉛・カルシウム・セシウムやセレンウムなど)を服用し、遠赤外線サウナに入ったりして免疫力を高める他、「抗がん剤の副作用を限りなく0%にし、治療効果を100%発揮するDMSOを併用する補完療法」を取り入れている。著書に「ガンを自宅の食事で治す法」「新!断糖宣言」(共著)</p>
--------------------	--	---

<b>18:00-19:10</b>	 ふなせ しゅんすけ 船瀬 俊介	<b>抗がん剤で殺される! ?《祇園の夜空に船瀬砲炸裂!》</b> <p>消費・環境問題評論家 九州大学理学部入学(中退)、早稲田大学社会学科を卒業後、日本消費者連盟に参加。『消費者レポート』などの編集等を担当する。また日米学生会議の日本代表として訪米、米消費者連盟(CU)と交流。独立後は消費者、環境問題を中心に執筆、講演活動を展開。著書に「笑いの免疫学」「抗がん剤で殺される」「3日食べなきゃ、7割治る!!」「超少食で女は20歳若返る」「買うな! 使うな! 身近に潜むアブナイものPART1」「食べないひとはなぜ若い? 空腹でオン!(長寿遺伝子)の驚異」他多数。</p>
--------------------	--	--

<b>19:10</b>	<b>開会挨拶</b> フランク・コウジノウ 米国CCS会長、森山 晃嗣 NPO法人がんコントロール協会理事長
--------------	---

※講師及び時間は一部変更することがあります。

※講師及び時間は一部変更することがあります。